



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所

コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長

(氏名) 柴田 直行

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,148	9.2	1,716	15.4	1,582	21.3	876	22.6
23年3月期第3四半期	12,044	14.8	1,486	99.0	1,304	50.1	715	45.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 713百万円 (25.5%) 23年3月期第3四半期 568百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	95.14	—
23年3月期第3四半期	75.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	19,650	13,466	68.5	1,471.12
23年3月期	19,025	13,382	70.3	1,417.70

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,466百万円 23年3月期 13,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,364	6.8	1,994	21.3	1,996	31.1	1,240	60.3	134.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	9,450,069 株	23年3月期	9,450,069 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	296,172 株	23年3月期	10,572 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	9,217,248 株	23年3月期3Q	9,439,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として東日本大震災の影響による厳しい状況下にあるものの、企業の生産活動は持ち直しの傾向が見られ、また、震災により停滞していた消費者マインドも回復の兆しが見られました。しかしながら、電力供給の制約や雇用情勢の悪化、タイの洪水被害による工場の相次ぐ操業停止の影響、中国の金融引き締めによる成長率の陰りや米国の景気回復基調の鈍化、さらに、欧州の財政危機の深刻化による世界経済の減速や歴史的な円高が続いており、景気の先行きは一段と不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力のポンプ事業において、国内の設備投資は依然として厳しく本格回復には至っておりませんが、北米・中国等を中心に海外売上が好調に推移しました。一方、電子部品事業においては、東日本大震災により当社グループ得意先での生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けましたが、そのサプライチェーンも急速に復旧し、震災前の水準に概ね回復してきておりましたのも束の間、タイの洪水被害により東日本大震災発生時と同様にサプライチェーン寸断の影響を軽微ではありますが受けました結果、全体として131億48百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

利益面につきましては、売上の増加及び原価低減等により粗利率が改善した結果、営業利益は17億16百万円（同15.4%増）、経常利益は15億82百万円（同21.3%増）、四半期純利益は8億76百万円（同22.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ポンプ事業

ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプは海外向けで販売が増加し、ケミカル以外用モータポンプは国内向けで販売が増加しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプが海外向けで増加し、冷凍機・空調機器モータポンプが国内外で増加しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、電力関連機器モータポンプが国内向けで増加しました。

その結果、売上高は112億28百万円（前年同期比12.1%増）、連結売上高に占める割合は85.4%となりました。

また、営業利益は、売上の増加及び原価低減等による粗利率の改善に努めた結果、17億33百万円（同16.1%増）となりました。

② 電子部品事業

電子部品事業は、自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が当社グループ得意先での生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けたため、売上高は16億29百万円（前年同期比6.0%減）、連結売上高に占める割合は12.4%となりました。

また、営業利益は、生産調整の影響及び製造ラインの移管費用発生により、34百万円の赤字（前年同期は31百万円の赤字）となりました。

③ その他

その他は、昇降機等の特殊機器の売上が減少したことから、売上高は2億90百万円（前年同期比1.8%減）、連結売上高に占める割合は2.2%となりました。

また、営業利益は、売上の減少等により、17百万円（同30.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は125億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億82百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が11億49百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が10億45百万円、仕掛品が7億56百万円増加したことによるものであります。固定資産は70億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が1億61百万円減少したものの、無形固定資産が1億99百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、196億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億24百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は48億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が4億97百万円増加したことによるものであります。固定負債は13億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億32百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、61億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億40百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は134億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に自己株式の取得4億43百万円及びその他有価証券評価差額金が82百万円減少したものの、利益剰余金が6億90百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.5%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,509,834	2,360,151
受取手形及び売掛金	5,071,373	6,117,244
製品	1,002,401	790,294
仕掛品	1,177,254	1,933,348
原材料及び貯蔵品	797,939	876,427
その他	643,545	710,291
貸倒引当金	△215,694	△218,814
流動資産合計	11,986,654	12,568,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,638,436	2,493,290
その他（純額）	2,785,670	2,935,128
有形固定資産合計	5,424,106	5,428,419
無形固定資産	309,232	509,160
投資その他の資産	1,305,824	1,144,263
固定資産合計	7,039,164	7,081,843
資産合計	19,025,818	19,650,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795,825	2,293,538
短期借入金	527,556	582,179
未払法人税等	470,227	190,647
製品保証引当金	51,748	57,508
賞与引当金	379,409	259,723
役員賞与引当金	25,000	21,000
その他	1,175,609	1,428,636
流動負債合計	4,425,376	4,833,232
固定負債		
退職給付引当金	808,956	849,545
役員退職慰労引当金	113,496	107,896
その他	295,630	393,593
固定負債合計	1,218,083	1,351,036
負債合計	5,643,459	6,184,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,116,823	2,116,823
資本剰余金	1,904,614	1,904,614
利益剰余金	9,629,368	10,320,364
自己株式	△9,501	△453,038
株主資本合計	13,641,305	13,888,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,900	51,389
為替換算調整勘定	△392,847	△473,636
その他の包括利益累計額合計	△258,946	△422,246
純資産合計	13,382,358	13,466,517
負債純資産合計	19,025,818	19,650,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	12,044,067	13,148,155
売上原価	7,366,792	8,036,711
売上総利益	4,677,275	5,111,444
販売費及び一般管理費	3,190,722	3,395,321
営業利益	1,486,553	1,716,122
営業外収益		
受取利息	4,539	3,896
受取配当金	16,578	20,507
受取賃貸料	13,759	13,711
助成金収入	21,292	35,310
その他	39,140	42,352
営業外収益合計	95,310	115,779
営業外費用		
支払利息	6,520	11,514
為替差損	255,523	187,524
その他	14,931	50,045
営業外費用合計	276,975	249,084
経常利益	1,304,888	1,582,816
特別利益		
固定資産売却益	405	829
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	407	829
特別損失		
固定資産除却損	2,327	3,746
固定資産売却損	1,493	180
投資有価証券評価損	13,979	54,765
投資有価証券売却損	77	—
特別損失合計	17,878	58,692
税金等調整前四半期純利益	1,287,417	1,524,952
法人税等	572,367	648,023
少数株主損益調整前四半期純利益	715,049	876,929
四半期純利益	715,049	876,929

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	715,049	876,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,471	△82,511
為替換算調整勘定	△148,074	△80,789
その他の包括利益合計	△146,602	△163,300
四半期包括利益	568,446	713,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,446	713,629
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,015,396	1,732,696	11,748,092	295,974	12,044,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,015,396	1,732,696	11,748,092	295,974	12,044,067
セグメント利益又はセグメント 損失（△）	1,493,223	△31,209	1,462,013	24,539	1,486,553

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,462,013
「その他」の区分の利益	24,539
四半期連結損益計算書の営業利益	1,486,553

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,228,352	1,629,134	12,857,487	290,668	13,148,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,228,352	1,629,134	12,857,487	290,668	13,148,155
セグメント利益又はセグメント 損失（△）	1,733,728	△34,756	1,698,972	17,149	1,716,122

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,698,972
「その他」の区分の利益	17,149
四半期連結損益計算書の営業利益	1,716,122

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期連結累計期間において4億43百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において4億53百万円となっております。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。